

中期基本計画 施策(目標)構成【案】

基本目標	前期基本計画の施策(目標)			中期基本計画の施策(目標)構成【案】		
	目標No.	目標のフレーズ	分野	目標No.	分野	今後の取り組みの方向性(イメージ)
I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを 創ろう	目標(1)	市民とともに歩む経営を行います	【市政経営】	目標(1)	【協働・自治】	①市民と職員がともに高浜市の将来について考える場の設置 ②市民活動の裾野の拡大 ③子どもたちや若い世代に対するまちづくり意識高揚・活動の第一歩につながるアプローチ ④地域とともに歩む職員の育成 ⑤「広報たかはま」のリニューアル ⑥「参画・協働・情報共有ガイドライン」に沿った具体的なアクション
	目標(2)	次世代のために、健全な財政運営を行います	【財政運営】			
	目標(3)	市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います	【協働・自治】	目標(2)	【財政運営】	①歳入に見合った歳出構造の確立 ②自立・安定した財政運営ができる経営基盤の確立 ③公共施設あり方計画を踏まえた公共施設マネジメントの実施 ④既存事業の再構築(統廃合)の仕組みの検討 ⑤長期財政見通しの策定 ⑥財政に関心を持つ方の裾野の拡大・若年層に対するアプローチ ⑦広域連携の推進 ⑧行政運営の効率化と職員力向上の一体的取り組み
II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育 もう	目標(4)	学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます	【生涯学習】	目標(3)	【生涯学習】	①まちの自慢を発信し、市民等がゆるやかにつながる仕組みづくり ②「まなび」の成果を入づくり・地域づくりへ展開 ③地域ぐるみで子どもの成長を応援 ④シニア層の知識・経験等の活用、健康づくり・生きがいづくり
	目標(5)	心たくましく健やかに育つ教育環境をつくりまします	【学校教育】	目標(4)	【学校教育】	①学校を拠点としたまちづくりに対する職員の意識向上 ②「12年間の学びと育ちをつなげる」という職員の意識の向上 ③市内小中学校の校舎改修の方向性 ④学校の想いと地域の想いのマッチング
	目標(6)	人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます	【子育て・子育て】	目標(5)	【子育て・子育て】	①民間活力の活用・幼稚園の認定こども園移行の検討 ②放課後居場所事業の展開 ③地域保育力の連携・強化 ④「たかはま子ども市民憲章」の普及啓発
III 明日を生み出す エネルギー やる気を 活かせる まちをつくらう	目標(7)	まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします	【産業】	目標(6)	【産業・観光】	①農事組合法人化に向けた支援 ②産業界と定期的に情報交換を行い、アイデアを取り入れる ③新たな工業用地の創出に向けた検討 ④高浜自慢を育て、交流人口の増加につなげる ⑤地場産業への支援 ⑥雇用の安定化 ⑦市内消費の推進 ⑧企業流出の防止 ⑨コミュニティビジネスの起業者発掘とネットワークの形成
	目標(8)	地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます	【コミュニティ福祉・観光】			
	目標(9)	みんなでまちをきれいにします	【環境】	目標(7)	【環境】	①子どもに対する環境学習の実施 ②新ごみ処理基本計画の作成と推進 ③マナー向上のための取り組み ④環境美化活動の見える化
	目標(10)	ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくりまします	【都市基盤】	目標(8)	【都市基盤】	①水道管耐震化・下水道(汚水)の計画的整備 ②国・県の実施事業を継続的に要望 ③高齢者・障がい者の日常の足となるような「いきいき号」の運営 ④地域参加型による地域に愛される公園づくり
	目標(11)	自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます	【公園・緑化・水辺空間】			
目標(12)	安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます	【防犯・防災】	目標(9)	【防犯・防災】	①自助・共助・公助を基本とした協働による防災・減災対策 ②交通安全・防犯対策の活動・啓発による安全・安心なまちの実現 ③災害に強い基盤整備(ex.治水対策、公共施設耐震化) ④防災に対する意識改革、防災教育の推進	
IV いつも笑顔で 健やかに つながり100倍 ひろげよう	目標(13)	一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます	【地域福祉】	目標(10)	【地域福祉】	①高齢者地域密着型施設や障がい者の生活の場の整備 ②地域が担い手となる福祉サービスの構築支援 ③高齢者や障がい者の交流の場・活動の機会の創出 ④災害時要援護者支援 ⑤権利擁護センターの設置 ⑥福祉の担い手の発掘と養成
	目標(14)	一人ひとりの元気と健康づくりを応援します	【健康】	目標(11)	【健康】	①社会参加と社会貢献による生涯現役のまちづくり ②地域医療の環境整備 ③在宅医療環境の体制整備 ④多世代が集う拠点整備 ⑤多様な介護予防サービスの構築 ⑥認知症の初期集中支援 ⑦こども発達センターの機能強化と新たなサービスの構築

※目標のフレーズについては、施策(目標)構成案決定後に検討する。

基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

1. 前期基本計画の施策(目標)構成

目標(1) 市民とともに歩む経営を行います【市政経営】	
目標達成に向けての考え方	「市民は高浜市の共同経営者である」という観点に立ち、政策形成過程や事業の実施・評価における市民参画を促進し、市民とともにP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルをまわし、市民が主役の経営を行っていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民と行政がまちづくりの目標・課題・解決策といった情報を共有し、まちに対する愛着を深め、まちづくりに積極的に関わろうとする市民が増えています。 ② 総合計画の実行、評価や進行管理に多数の市民が参画し、わかりやすい経営が行われています。 ③ 職員は、市民の意見をじっくり聞き、行政の考えをきちんと伝え、市民と真剣に対話しています。

目標(2) 次世代のために、健全な財政運営を行います【財政運営】	
目標達成に向けての考え方	限られた財源の中で、事業に優先順位をつけて、「あれかこれか」を選択し、メリハリのきいた健全な財政運営を行っていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業に優先順位をつけ、「あれかこれか」を選択する仕組みができています。 ② 地域の現状や課題をしっかりと把握し、歳出が最適化され、健全な財政運営が行われています。 ③ 財政に関する情報が市民に浸透し、市民が当事者意識をもって、市の財政状況を見ています。 ④ 効率的に行政サービスが提供され市民に喜ばれています。

目標(3) 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います【協働・自治】	
目標達成に向けての考え方	元気で活気に満ちたまちづくりを目指し、「高浜市自治基本条例」の趣旨を活かして地域の課題解決や魅力の向上に向けて知恵を出し合い、ともに汗をかいていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民と行政の意見交換が活発に行われ、お互いの信頼関係が深まり、ともにまちづくりを行っています。 ② 地域の課題を地域の自主的・主体的な活動により解決する取り組みが活発に行われています。 ③ 市民同士がきちんと話し合いをして、お互いに納得できる合意を創り出すなど自治力が向上しています。 ④ 多くの市民がまちづくりに関わり、地域のニーズに即して税が有効に活用されています。

2. 中期基本計画の施策(目標)構成【案】

目標(1)【市政経営】は、目標として掲げない ただし「参画」と「情報共有」に関する部分は、目標(3)【協働・自治】に「統合」する	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・目標(1)【市政経営】は、総合計画をまちづくりの共通目標として、PDCAサイクルを回し、市民とともに総合計画の進行管理を行っていくことを目指した目標であるが、総合計画の進行管理のツールとして行政評価システムを構築し、総合計画をまちづくりの共通目標として、PDCAサイクルを回す仕組みが定着できた。 ・したがって、中期基本計画では、「総合計画の進行管理」に関する目標は掲げず、目標とは別の「章立て」により、総合計画の進行管理に関する記述を行っていくこととする。 ・なお、「参画」と「情報共有」に関する部分は、市民とともにまちづくりを行う前提となるものであり、自治基本条例に規定する「まちづくりの基本原則」でもあるため、目標(3)の【協働・自治】に、その趣旨を盛り込んでいく。

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・目標(2)は、施策評価の結果からも順調に進捗しており、みんなで目指すまちづくり指標である「将来負担比率」及び「市の財政状況に関心を持っている人の割合」は、目標値を達成する見込みである。 ・前期基本計画において、限られた財源の中、事業に優先順位を付け、「選択と集中」といった経営の視点を取り入れた財政運営は、基本目標Ⅰを達成するための手段として有効であることが確認できたことから、中期基本計画においても本目標の考え方を継承することとする。

目標(3)【協働・自治】に、目標(1)の「参画」と「情報共有」に関する部分を「統合」する	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・目標(3)は、元気で活気に満ちたまちづくりを目指し、市民とともに力を合わせてまちづくりを行うという自治基本条例の精神を具現化する【協働・自治】に関する目標である。 ・地域内分権をはじめ、市民との協働は本市の大きな特徴の一つであり、次のステージに向けて、引き続き【協働・自治】に関する目標を掲げることとする。 ・目標の設定にあたっては、自治基本条例に規定するまちづくりの基本原則である「参画の原則・協働の原則・情報共有の原則」の視点を重視する。

基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

1. 前期基本計画の施策(目標)構成

目標(4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます【生涯学習】	
目標達成に向けての考え方	子どもを生涯学習の「根っこ」と捉え、子どもが夢と希望を持って青少年から社会人へと成長し、大人もまち自体も、大地から大樹のように一緒に成長し、次の時代へつなげていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 感動との出会いにより、子どもたちが成長し、次の世代へ夢とロマンを語り継いでいます。 ② 市民が学ぶ力を高め、学んだ成果をまちづくりに積極的に活かしています。 ③ 地域資源が次の世代へ継承され、地域に息づいています。 ④ 「たかはまが大好き」という市民が増えています。

2. 中期基本計画の施策(目標)構成【案】

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画策定後に、第2次生涯学習基本構想を策定し、その目指す姿を『子どもを「まなびの根っこ」に据え、「ひとづくり」が「まちづくり」へとつながる「まなび」と行動が循環しあう生涯学習』とし、映画「タカハマ物語」や「たかはま夢・未来塾」などを通して、<u>子どもたちの成長に一定の成果がみられている。</u> ・地域資源の掘り起こしや情報発信を進めているものの、<u>生涯学習を全世代へと広げていくには、本市のネットワークの現状では脆弱である。</u> ・そこで、<u>中期基本計画では、全世代の市民がゆるやかにつながる仕組みづくりの視点を加え、「ひとづくり」が「まちづくり」へとつながる視点を盛り込む。</u>

目標(5) 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります【学校教育】	
目標達成に向けての考え方	次世代を担う子どもを心身ともに健やかに育むために、家庭・地域・学校の連携を強化し、みんなで育てる環境をつくっていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもが心身ともに健康で、夢や希望を持ち、毎日が楽しいと感じています。 ② 確かな学力と生きる力が育まれ、一人ひとりの個性が伸びています。 ③ 教師、家庭だけでなく、地域の様々な人が子どもと関わっています。 ④ 高浜市の特性に合った教育環境が整っています。 ⑤ 子どもが地域活動に主体的に参画しています。

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画策定後に、教育基本構想を策定し、その教育ビジョンを『高浜を愛し、高浜の良さを学んで、高浜でたくましく生きる未来市民の育成』とし、<u>各種検討委員会等を組織し、その実現のための基盤づくりを進めている。</u> ・中期基本計画では、次のステージの重点目標として「<u>幼保小中12年間の学びと育ちをつなげる</u>」姿勢を加える。

目標(6) 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます【子育て・子育て】	
目標達成に向けての考え方	家庭だけでなく、地域・事業者・関係機関と連携して、多様なライフスタイルやニーズに対応し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 安心して子どもを産み、育てられるようになっています。 ② 地域の見守りの中で、子どもがのびのびと活動する姿が見られます。 ③ 地域・事業者・関係機関と連携して、子育て・子育てを支える体制ができています。 ④ 子育てや仕事を楽しむ親が増え、親子の対話やコミュニケーションが活発になっています。

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画期間中は、幼稚園における預かり保育の拡充、家庭的保育の追加、放課後居場所事業等を進めてきたが、平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき、<u>子育て支援策の強化が図られることになる。</u>加えて、<u>女性が活躍できる環境整備が、国の成長戦略の中核に位置づけられる。</u> ・そこで、<u>中期基本計画では子育て支援策の守りから攻めへの転換を図る視点を重視する。</u>

基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

1. 前期基本計画の施策(目標)構成

目標(7) まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします【産業】	
目標達成に向けての考え方	産業は、まちに活力を生み出し、市民の働く場の確保や所得を得る、消費の場となるなど安定した市民生活を支える基盤です。地域産業の振興、企業誘致の促進、企業や事業者の新たな取り組みや意欲・挑戦を応援していきます。
目標が達成された姿	① 企業や事業者が特色ある活動が活発になっており、市内の雇用が安定しています。 ② 地元の商店の売上げが増加し、地域の消費者の支持を得られています。 ③ 農地が活用され、人材確保が進み、地産地消の推進により経営基盤が強化されています。 ④ 市内業者の受注機会が増え、売上が増加し、元気になっています。

目標(8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます【コミュニティビジネス・観光】	
目標達成に向けての考え方	市民が主体となって、地域の課題をビジネスの手法によって解決し、人と人とのつながりを重視し、関わる人が喜びや楽しさ、いきがい、やりがいを感じながら、地域を豊かにしていく新たなビジネスの芽を育てていきます。
目標が達成された姿	① コミュニティ・ビジネスに対する理解や関心が高まり、地域課題の解決を図ろうとする市民が自発的に行動しています。 ② 身近な課題解決につながるきめこまやかなサービスが市民の手により行われ、幸せだと感じる人が増えています。 ③ 市民の手で地域資源が掘り起こされ、まちの魅力が高まっています。

目標(9) みんなでまちをきれいにします【環境】	
目標達成に向けての考え方	人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と力を合わせて環境に配慮した取り組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを、次世代に引き継ぎます。
目標が達成された姿	① 地球環境に対する意識が高まっています。 ② 資源化が進み、ごみの量が減っています。 ③ ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。 ④ 環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。

2. 中期基本計画の施策(目標)構成【案】

目標(7)【産業】と目標(8)【コミュニティビジネス・観光】を「統合」する	
上記の理由・考え方	<ul style="list-style-type: none"> 目標(7)【産業】は、前期では、企業誘致制度、がんばる事業者への支援、地元企業優先発注制度や地場産業に対する支援等の事業を展開し、平成24年9月には「高浜市産業振興条例」を制定した。中期基本計画では、これらをもとに更に事業者や関係団体との情報交換を密にし、社会経済情勢の変化に即応した各種支援策等に取り組むことが必要であると考えている。 目標(8)【コミュニティビジネス・観光】は、前期では指標にコミュニティ・ビジネスの事業件数を掲げ、先進事例の調査、フォーラム・創業支援セミナー・アイデアプラン発表会の開催、財政支援策の制度化を図るなど一定の成果を収めてきた。中期基本計画では、更なる認知度の向上や創業予定者に対する専門家のフォローアップ等を進め、地域のまちづくり活動や産業活動につなげていく。加えて、観光事業の側面から今後の取り組みとして掲げる高浜自慢の発掘や交流人口の増加は、農商工などの産業活性化につながるものである。このことから「まちの成長を支えるエンジン=すべての産業」というフレームで捉えることが重要である。 よって、目標(7)【産業】に目標(8)【コミュニティビジネス・観光】を統合する。

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由・考え方	<ul style="list-style-type: none"> 意識を高める手段として、地域、学校、事業者、関係機関と力を合わせて環境に配慮した取り組みを実践することが有効と考え、前期基本計画期間中は、「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」の普及と、それに基づく環境美化推進委員への登録を中心に事業を展開してきた。 まちづくり指標である環境推進委員の登録状況は、増加傾向であり、目標年次である平成25年度末には達成できる見込みである。また、平成25年度の市民意識調査結果においてもきれいなまちだと思う人の割合が、5.5%増加していることから、基本的な方向は継続する必要があると考える。 しかし、一方で、市民会議からの提言において、子どものころから環境に関心を持ち、自ら行動できるような「継続した環境学習」が必要とされていることから、中期基本計画は子ども切り口とした事業展開を図ることとしている。 以上のことから、目標達成に向けた事業は、対象を子どもを切り口としたものにシフトしていくものの、基本的な考え方、施策(目標)構成は、現行どおりとする。

1. 前期基本計画の施策(目標)構成

目標(10) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります【都市基盤】	
目標達成に向けての考え方	住み続けたいと思える快適さとやすらぎのあるまちづくりのために、その骨格となる交通網、良質な住環境や充実したライフラインなど、都市を形成するそれぞれの要素を調和(ハーモニー)させていきます。
目標が達成された姿	① 安心して楽しく暮らせる住環境、ライフラインの整備が推進されています。 ② 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ③ 地域資源を活かした魅力あふれる景観が形成され、まちに対する愛着や誇りが高まっています。

目標(11) 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます【公園・緑化・水辺空間】	
目標達成に向けての考え方	地域資源や公園・緑地、水辺をネットワークとしてつなぐことにより、地域の魅力向上や自然と調和した都市環境をつくっていきます。
目標が達成された姿	① 公園などが市民の憩いの場として愛されており、「自分たちの公園」という意識が高まっています。 ② 四季を通じて心にうるおいと安らぎを与える環境が整い、健康づくりや憩いの場として活用され、笑顔とにぎわいであふれています。 ③ 町中が花や緑であふれ、鳥や魚が喜ぶ自然環境が保たれています。

目標(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます【防犯・防災】	
目標達成に向けての考え方	身近に起きる犯罪や大地震、台風、集中豪雨、伝染病などの危機から生命を守ることは、まちづくりの根幹に関わります。被害を最小限に食い止めるため、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域で守る」という意識を持ち、市民・地域・行政がそれぞれの役割のもとに、危機・災害発生時の対応能力を高めていきます。
目標が達成された姿	① 誰もが安心して安全だと感じながら暮らしています。 ② 防犯・防災意識が向上し、市民・地域・事業者・関係機関と連携して、防犯・防災活動に取り組んでいます。

2. 中期基本計画の施策(目標)構成【案】

目標(10)【都市基盤】と目標(11)【公園・緑化・水辺空間】を「統合」する	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 目標(10)【都市基盤】について、前期では、愛知県による国道419号の立体事業、水道事業、公共下水道事業や、公共交通としてのいきいき号循環事業など、住み続けたいと思えるまちに向けての基盤づくりに取り組んできた。 しかし、<u>道路整備をはじめとするハード整備事業は長期的な視点による取り組みが必要であり、短期間で効果を上げることは難しいと考える。</u> 中期では、前期と同様、各事業主体が財源等を勘案しつつ、<u>計画に基づいた着実な事業推進に取り組むことが、快適な都市空間の形成につながる</u>と考える。 目標(11)【公園・緑化・水辺空間】について、前期では、衣浦港沿いの水辺、河川、道路、社寺、公園や多様な生物が生息する緑などを市民との協働により<u>保全・活用</u>するなど、高浜市らしさを活かし、地域の特性に応じた緑化や水辺空間の保全活動を展開してきた。 中期では、高浜緑地の上部の活用方法の検討、高浜ベイサイド(貯木場跡地)活用検討が必要であると考える。 目標(10)に掲げる快適な都市空間の形成は、本市の都市計画の総合的なマスタープランを、目標(11)の憩いの場づくりは、高浜市緑の基本計画をベースとしているが、<u>2つの計画の体系的な関連性が強い</u>ため、<u>目標(11)【公園・緑化・水辺空間】を目標(10)【都市基盤】に統合する。</u>

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 身近な犯罪や交通事故をはじめ、大規模地震、台風、水害といった自然災害など様々な危機に対する対応能力を高め、安全で安心が実感できる基盤づくりを目指してきた。<u>基盤づくりとは、ハード面の備えだけでなく、一人ひとりの意識向上や地域内での共助のあり方など、人材の育成も含めたものとして捉えている。</u> 平成24年度・25年度の市民意識調査では、「安全、安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだ」との問いに対して、10代から20代において「そう思う+どちらかといえばそう思う」と回答した割合が低い傾向にあることから、若年層に対するアプローチが課題となっている。 今後、中期では、<u>小・中学校への防災対策の情報発信と防災教育を、教育委員会と防災担当部局が連携をして進める必要がある</u>、<u>平時から、誰もが安全、安心を感じ取れるための取り組みが必要である。</u>

基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり 100 倍ひろげよう

1. 前期基本計画の施策(目標)構成

目標(13) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます【地域福祉】	
目標達成に向けての考え方	今、地域の中には、「近所に知り合いがいない」、「行き場がない」、「独り暮らしで病気になったときは不安」といった問題を抱え、地域で孤立する人が増えています。地域・事業者・関係機関と連携して、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① まちのあちらこちらで気軽にあいさつを交わしたり、交流やふれあいの光景が見られます。 ② 多くの市民が、地域での支え合いの担い手として活躍しています。 ③ 障がい等のある方と障がい等への理解を深めた市民が、地域でともに支えあい、誰もが住み慣れた地域で、その人らしくいきいきとした生活を送っています。 ④ 地域や関係機関と連携し、ともに支えあっていく福祉のネットワークづくりが進んでいます。



2. 中期基本計画の施策(目標)構成【案】

施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 目標(13)【地域福祉】は、地域の中で孤立している方、認知症高齢者や障がい者などへの地域の理解促進、社会参加機会の創出、支援者の発掘などを通して、<u>地域における「つながり・支えあい」活動を推進し、これらの方が住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らし続けることができるようにすること</u>である。 • 今後、<u>少子高齢化や核家族化の進行により孤立する方が増え続け、また、認知症高齢者の増大が予測される中、これまでの取組みを更に発展させるとともに、認知症高齢者や障がい者の権利擁護の視点を重視していく必要がある。</u>

目標(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します【健康】	
目標達成に向けての考え方	誰もが健やかに生きがいを持ち、はつらつと生活していくためには、何よりも健康が大切です。健康は自分でづくり、守るものですが、個人の健康を支援する地域、事業者、関係機関の役割も重要であることから、ともに健康づくりをバックアップしていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康や介護予防に関する知識が身についています。 ② 毎日、健康づくり活動が地域で展開されています。 ③ 一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち、自分の体質・体調・病気について相談することができます。 ④ 健康診査受診率が向上し、早期発見・早期治療ができ、健康寿命が伸びています。



施策(目標)構成は、「現行どおり」とする	
上記の理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 従来からの病気に対する早期発見、早期治療に加え、<u>健康増進や介護予防など病気の発生自体を未然に防ぐ一次予防の取組みの必要性、そして、その実現のためには、市民自らの取組み、地域での取組み、行政の取組みの3者の推進力による連携と補完が必要であるという目標の基本に変更がないため、現行どおりとする。</u>